

競 技 注 意 事 項

この大会は、2024年日本陸上競技連盟規則と本大会要項ならびに競技者注意事項により実施する。

1. 招集について

- (1) 競技者系の位置は、100mスタート後方に設ける。
- (2) 競技者は、選手招集所で一次点呼（掲示板に○をつける。棄権の場合は競技者係に知らせる）を行い、招集終了時間までにトラック競技・フィールド競技は100mスタート後方の所定場所に集合すること。
- (3) 招集は全て競技者系の指示に従う。
招集終了時間は トラック競技 競技開始15分前／フィールド競技 競技開始20分前とする。
四種競技は1種目目のみ競技者係で点呼を行い、2種目目からはトラック競技開始15分前／フィールド競技開始20分前までに競技地点に集合する。

※ 招集に遅れた場合は、競技に参加することができない。

※ トラックとフィールドで競技が重なった場合、その旨を競技者係、フィールド審判員に申し出ること。
競技の途中で移動する際や、競技に戻ってきた際には、必ず審判員に申し出ること。

- (4) リレーのオーダー用紙は、**召集終了時間1時間前**までに本部内の情報記録員に提出すること。

※予選は受付時に同封したオーダー用紙または、事前に用意したオーダー用紙を提出すること。決勝は予選で記入したオーダー用紙を競技者係で受け取り、必要事項記入の上、本部に提出すること。

※リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいても本競技会のリレー又は他の種目に申し込んだ競技者であれば出場することができる。ただし、少なくとも2人は当該リレー種目に申し込んだ競技者でなければならない。

2. 走路順・試技順

- (1) トラック種目予選におけるレーン順、及びフィールドの試技順はプログラム記載通りとする。
- (2) 決勝のレーン順は番組編成で公平に決定する。

3. トラック競技

- (1) 写真判定装置を使用するので、腰ゼッケンを必ずつけること。
- (2) 1500mのレーンビブスは競技者係から配布されたもの、3000mも同様に点呼時に配布されたものをつけること。
- (3) 800mにおいて、10人までは1レースで決勝を行う。その際、9レーンの選手は7レーン、10レーンの選手は2レーンでスタートする。11人を超える場合はタイムレース決勝とする。
- (3) 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。ただし、男女四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートをした競技者は、全て失格とする。
- (4) 競技規則TR16. 5. 3は、本大会では適用せず、注意を与えるものとする。
- (5) スタート前に腰ゼッケンを右腰につけること（リレー競技は第4走者のみでよい）。シャツを出して腰ナンバーが隠れることのないようにすること。

4. フィールド競技

(1) 走り高跳びのバーのあげ方は次の通りとする。

男子 1 m 2 0 c m から 5 c m ずつ、1 m 5 0 c m から 3 c m ずつ (1m50cm が標準記録)
四種競技は 1 m 1 0 から 5 c m ずつ、1 m 4 0 から 3 c m ずつ
練習は 1 m 1 0 c m

女子 1 m 1 0 c m から 5 c m ずつ、1 m 3 5 c m から 3 c m ずつ (1m35cm が標準記録)
四種競技は 1 m 0 0 から 5 c m ずつ、1 m 2 5 c m から 3 c m ずつ
練習は 1 m 0 0 c m

※第1位が同成績の場合及び全道大会出場権における順位決定のバーの上げ下げは2cmとする。

(2) アスリートビブスについて、跳躍競技においては胸部または背部のみの着用でもよい。

(3) マーカーについて、サークルから行う投擲競技は1個、跳躍競技は2個まで使用できる。

5. 競技について

(1) その競技に参加の選手以外は監督も含め一切競技場内に入ることにはできない。コーチングエリアにおいて助言することとし、競技に差し支えないよう注意すること。

(2) 短距離走ではゴール後安全確保のためゴール通過後も自分のレーンに沿って走り前後左右の安全を確認してからレーンを出ること。

(3) リレー競技のマークは一カ所とする。前走者は自分のレーンのマークを確実に撤去すること。

(4) 競技に使用する用器具は、棒高跳びのポール以外全て主催者が用意したものを使用すること。

(5) スパイクシューズについて、本競技場は全天候舗装であるので、ピンは9mm以下とする。(走高跳は11mm以下)

6. 練習について

(1) 8時30分まで、本競技場での練習を認める。

(2) 安全のため、逆走は行わないこと。

(3) ウォーミングアップはバックストレート側トラックを競技に差し支えないよう利用のこと。ただし、ミニハードルやラダー等の器具の持ち込みは認めない。

(4) 旧末広中学校野球グラウンドは使用しないこと。

7. その他

(1) 悪天候(雷など)の場合、日程変更や中止等もあり得る。

(2) 全道大会出場権を得た選手は、本部にて大会当日中に本部にて随時参加申込みを行う。

(3) 個人情報(大会の資格審査、プログラム編成および作成、記録発表、その他競技運営および陸上競技に必要な連絡等)にのみ利用する。